

2018年10月24日

各位

株式会社北洋銀行



## 大通ビッセの「セイコーマート」「アインズ&トルペ」にて 新たなキャッシュレス決済の実証実験を開始します

北洋銀行(取締役頭取:安田光春)は、セイコーマートを運営する株式会社セコマ(代表取締役社長:丸谷智保)、アインズ&トルペを運営する株式会社アインファーマシーズ(代表取締役社長:大石美也)、スマートフォン決済サービス業者である株式会社エムティーアイ(東京都新宿区、代表取締役社長:前多俊宏)と共同で、2019年1月から新たなキャッシュレス決済の実証実験を大通ビッセで開始します。

実験で使用する決済アプリはエムティーアイの「&Pay(アンドペイ)」です。「TSUBASA FinTech 共通基盤<sup>※1</sup>」によるオープンAPI<sup>※2</sup>と連携することで、消費者の皆さまに安心・安全な即時決済<sup>※3</sup>を提供するとともに、事業者の皆さまにとっては早期の代金回収が可能となります。

この実験を通じて利便性や有用性を十分に検証し、キャッシュレス決済の取り組みを進めて参ります。

【 実証実験の概要 】	
期 間	2019年1月下旬から6ヵ月程度(予定)…銀行営業日のみ実施
対象店	セイコーマート大通ビッセ店・アインズ&トルペ大通ビッセ店
対象者	セコマ・アインファーマシーズ・北洋銀行の各従業員
内 容	◆対象店における対象者の各種購入代金支払いについて、エムティーアイが提供する決済アプリ「&Pay(アンドペイ)」を用い、スマートフォンで決済を行います。 ◆「&Pay(アンドペイ)」とAPIの連携により、対象者の北洋銀行預金口座から代金が引き落とされ、対象店の同口座に入金となります。

※1…千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北越銀行および当行が参加する「TSUBASA アライアンス」とT&Iイノベーションセンター株式会社が共同で構築したもので、フィンテック企業等の外部事業者の皆さまが同一の仕様で接続できるオープンAPIのプラットフォームです。

※2…API(Application Programming Interface)とは、お客さまの同意に基づいて銀行等のシステムに外部から接続して安全に情報を取得できるようにする仕組みで、その仕様等をフィンテック企業等の外部事業者に公開することを「オープンAPI」といいます。

※3…お客さまの口座残高の範囲内で自ら承認して決済することにより、使いすぎ防止、不正利用防止などのキャッシュレスへの不安を取り除き、カードやチャージ不要の新たなスマートフォン決済を実現していきます。

以 上